

関係各位

日本LPガス協会

第4回 グリーンLPガスの生産技術開発に向けた研究会 議事要旨

- 日時：2021年2月26日(金) 10:00~12:00
- 場所：日本LPガス協会 第1会議室
- 出席者：関根座長(早稲田大学教授)、橋爪委員(エネ庁 資源・燃料部、石油流通課企画官)、坂西委員(産業技術総合研究所)他 委員(9名)、オブザーバー他(9名)、事務局(3名)

議事概要

(1) 以下の2名よりプレゼンテーションが行われた後、エネ庁石油流通課の橋爪企画官より、前回に引き続き、グリーンイノベーション基金事業に関する状況説明があった。

- ・「地産地消エネルギーによる地域のカーボンニュートラル化」
大成建設(株) 白石新領域推進室課長
→ カーボンニュートラルに向けた同社の取組みと地域循環共生圏の実現に向けた北海道バイオガスプラントの概要と課題等
- ・「高効率 LPG 合成プロセスの開発」 HiBD 研究所 藤元代表理事(東京大学名誉教授)
→ CO(CO₂)と H₂ からメタノール・DME合成を経た C₃、C₄ 合成に関するこれまでの研究成果の紹介等

(2) 今後の研究会活動等についての議論・検討(要約)

- ・大成建設による地産地消エネルギーにおけるLPGの可能性については、北海道以外の地域での展開やLPG以外の生成物の可能性、硫黄分除去方法等に関する質疑があった。
→ 北海道以外でも佐賀県等での導入実績あり。また脱硫技術に関しては実用実績があることが他委員より回答あった。
- ・藤元先生によるLPG合成については、これまでの研究成果として主にブタン (イソブタン)を高い得率で得ることが確認されていることが報告されたなか、軽質分(C₁~C₂)の収率を上げることが可能か、或いはプラントスケールにする際の課題(高効率触媒の開発)等に関する質疑があった。 → 収率については、反応条件を変えれば可能であるとの回答有り。
- ・また、メタノール・DME を経由した LPG 合成については、バイオ由来DMEのLPGへの混合、FT合成によるプロパネーション等と並ぶ新たな技術シーズとしての可能性があり、今後さらに検討していく価値があるのではないかと意見が出された。
- ・次回は、古河電工(株)から家畜糞尿由来バイオガスからのLPガス製造、ならびに日本DME協会による講演を行う予定。

(3) 次回会合：3月25日(木) 10:00~12:00

以上